

JIS

冷媒用フレア及びろう付け管継手

JIS B 8607 : 2020

(JSRAE/JSA)

令和 2 年 3 月 23 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌田 実	東京大学
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木村 たま代	主婦連合会
	佐伯 誠治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	榎 徹雄	東京都市大学
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山田 陽滋	名古屋大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 50.9.1 改正：令和 2.3.23

官 報 掲 載 日：令和 2.3.23

原 案 作 成 者：公益社団法人日本冷凍空調学会

(〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 13-7 日本橋大富ビル TEL 03-5623-3223)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び種別	2
4.1 管継手	2
4.2 管継手接続配管	2
5 性能	2
5.1 耐圧性能	2
5.2 気密性能	3
6 形状・寸法	3
6.1 フレア管継手及び銅合金ろう付けソケット管継手の基本的な形状・寸法	3
6.2 ろう付け管継手の種類, 形状及び寸法	7
7 外観	11
8 材料	11
9 製造方法	12
10 耐圧及び気密の性能試験方法	12
10.1 フレア管継手及び銅合金ろう付けソケット管継手の試験の場合	12
10.2 ろう付け管継手の試験の場合	12
11 検査	12
12 管継手の呼び方	13
12.1 フレア管継手及び銅合金ろう付けソケット管継手	13
12.2 ろう付け管継手	13
13 表示	13
附属書 A (規定) 冷媒配管用銅及び銅合金管の肉厚	14
附属書 B (規定) 一般冷媒配管用ろう付け管継手の種類及び寸法	20
附属書 C (参考) ろう付け管継手の最小肉厚	22
解 説	25

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本冷凍空調学会（JSRAE）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 8607:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

冷媒用フレア及びろう付け管継手

Flare type and brazing type fittings for refrigerants

1 適用範囲

この規格は、銅及び銅合金に対して腐食性のない冷媒を用いた、冷凍装置の銅管及び銅合金管の接続に使用するフレア管継手（管端部のフレア加工を含む）、銅合金ろう付けソケット管継手及びろう付け管継手（以下、管継手という。）について規定する。

なお、最高使用圧力 4.30 MPa を超える冷媒については、ろう付け管継手だけに適用する。

注記 この規格で用いる圧力は、ゲージ圧力をいう。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0208 ユニファイ細目ねじ

JIS B 0212 ユニファイ細目ねじの許容限界寸法及び公差

JIS B 0405 普通公差－第 1 部：個々に公差の指示がない長さ寸法及び角度寸法に対する公差

JIS H 0321 非鉄金属材料の検査通則

JIS H 3250 銅及び銅合金の棒

JIS H 3300 銅及び銅合金の継目無管

ISO 817, Refrigerants－Designation and safety classification

ISO 14903, Refrigerating systems and heat pumps－Qualification of tightness of components and joints

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

毒性冷媒

生体に暴露（ばくろ）された場合、ヒト及び動物に病的な症状、又は生体にとって有害な変化を引き起こす性質をもつ **ISO 817** の安全分類において、B に区分される冷媒。

長期反復暴露による慢性毒性と単一の短期暴露による急性毒性とがある。

3.2

可燃性冷媒

火炎がある距離だけ自己伝ば（播）する性質をもち、**ISO 817** の安全分類において、2L：弱燃性、2：可燃性、3：強燃性 のいずれかに区分される冷媒。